

事業所職員向け 2023年度 児童発達支援事業 自己評価表(コラボいなぎいなぎこども発達支援セン

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	・限られたスペースをパーテーションや柵でエリア分けし、利用児童が過ごしやすいよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	88%	0%	12%		・職員の配置数は満たしていますが、小規模事業所のため、職員の休みが取りづらいところがありますが、なるべくカバーしあえるように勤務調整をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	・食事、お集り、設定活動など必要に応じてエリアを分け、お子さんたちが理解しやすいように環境を構造化することや視覚支援を積極的に取り入れている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	0%	25%	・水回りの衛生面をもう少し改善したい。 ・活動に合わせた空間になるよう努力しているが、設備の元々の不備や老朽化等もあり、虫が入りやすい。	・毎日の清掃に加えて、年2回は大掃除をし、施設内を清潔に保てるよう努めます。 ・年1回設備点検を行い、必要に応じて修理をしていきます。 ・人体に無害な防虫剤を適宜建物周りに散布します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・全体の振り返り、クラスごとの振り返りの時間を設け、支援や業務について話している。	・月1回の支援会議や隔月で実施している常勤会議など、職員間で課題を共有しながら進めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・以前より保護者の方から希望が出ていて引き取り訓練を実施。	・毎年保護者向け評価表を実施し、ご意見をいただく機会を設定しています。またいただいたご意見に対しては会議で職員間で共有し、改善策について検討しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	回答しやすいようwebアンケートで行っている。 当法人HPにて公開している。	・法人ホームページにて評価表の結果は公表しています。また公表時にはアプリやお便りを通してお知らせします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	定期的にオンブズマンによるグループ療育のスーパーバイズを年2回、外部の心理士によるグループ療育スーパーバイズを年3回受けている。	・SVを通して支援や業務について定期的に指導を受けています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・法人内で導入したeラーニングを視聴している。 ・支援会議で動画を視聴したり、内部研修を行なっている。	・常勤職員、非常勤職員ともに専門性や支援の幅が広がるように内部研修やeラーニングによる研修などを行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・アセスメントシートの記入や保護者アンケートを実施し、ニーズを確認した上で支援計画を作成している。	・支援計画を立案する際には保護者の方のニーズを確認しています。また、前期支援計画を立案する際にはお子さんのご様子について細かくアセスメントを行った上で支援計画を立案しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	88%	0%	12%	・個別療育利用の方には発達検査を定期的に実施している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	1人1人個別に支援計画を立てており、クラス会議で情報共有している。 支援会議で支援計画を振り返る機会を設けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	月案作成をチームで行なっている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・繰り返しの活動の中でお子さん合わせて、同じ活動でも内容を変化させている。 ・毎回、活動の様子を振り返り、次回の活動プログラムを考案している。	・グループ療育ではお子さんの理解に合わせて「分かって取り組めること」を目的として繰り返す行う活動も設定しています。その中で徐々に難易度や変化を加えていく工夫を行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・朝礼は必ず行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	0%	12%	・出来ない日もあるが、必要の応じて業務日誌に入力し共有出来るようにしている。 ・ICTを活用し、情報を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	0%	12%		・サービス提供記録は記録しているが、支援の記録は会議日など記録が難しい日もあるため、ICTを活用し、支援の振り返りを行い、職員間で共有するようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・半年に1回モニタリングと個別支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	0%	12%	・担当が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%		・年3回行われる市の自立支援協議会子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加し、情報共有を図っています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88%	0%	12%	・必要に応じて書類を作成している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88%	0%	12%	・就学に向けて就学支援シート等の書類を作成している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	0%	25%	・法人内他事業所のスタッフと連絡会や研修を実施している。	・SVを通して支援や業務について定期的に指導を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	0%	75%		・交流については通所されているお子さんの必要性に応じて検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	88%	0%	12%		・年3回行われる市の自立支援協議会子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加し、情報共有を図っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	63%	0%	37%	・系統立ったプログラムは行っていないが、都度相談に乗り、対応をアドバイスしている。	・系統だったペアレントトレーニングは行っていないですが、個別に保護者の方の相談からお子さんに合った対応について一緒に考えていきます。 ・保護者会や保護者勉強会を開催し、保護者の方の力になるよう企画していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		・契約時に説明し、書面をお渡ししています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%		・支援計画を立案や改訂する際には面談を行い、支援について直接お伝えする機会を設けています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	・必要に応じて面談を設定している。	・前期後期の面談だけでなく、必要に応じて面談を行っています。

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	・保護者交流会を年2回実施、また親子イベントを開催し交流の機会を設けている。 ・定期的に保護会を実践している。	・グループ療育をご利用の方は保護者交流を目的とした行事を年5～6回行っています。 ・個別療育のみをご利用の方は年2回の保護者勉強会を行っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		・ご希望や必要性に応じて面談を行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・アプリなどのICTを活用し、情報を発信している。	・グループ療育では毎月予定表をコドモンアプリを通してお出ししています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%		・個人情報の入った文書は中身が見えないよう黒いファイルを使用しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	37%	0%	63%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	63%	0%	37%		・感染症マニュアルに基づき、年1回感染症対策訓練を行っています。 ・定期的にマニュアルを見直し、職員間で周知するとともに保護者の方にもお知らせします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88%	0%	12%	・避難訓練を実施している。	・グループ療育については避難訓練やそれに代わる職員の災害訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	・今年はアレルギーのあるお子さんがいない。	・年度ごとに利用登録票の記入をお願いし、アレルギーや発作などを把握しています。また必要に応じて個別のアレルギーや熱性けいれん時の対応マニュアルを作成しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88%	0%	12%		・アレルギーに関しては事前に把握し、おやつや活動ではアレルゲンを除去したものを提供しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	88%	0%	12%	・インシデントは毎日の振り返りで報告を行っている。	・毎日の終礼でインシデントを共有し、次の支援に活かせるよう振り返りの時間を設けています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%		・年1回の虐待防止研修と定期的に虐待防止委員会を開催し、支援の中で権利擁護の視点を忘れないように話し合いの機会を設けています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%		・身体拘束についての研修を実施しています。また座位保持椅子の使用などについては身体拘束防止委員会を設定し、使用する場面を確認し、保護者の方に同意を得てから使用しています。